

～コミュニティが育つ、子どもがいる暮らし～

【Not a サクセスストーリー、But a リアルストーリー】

朴 希沙

世の中には様々な子育て本があるらしい。子育て本だけでなく Youtube、漫画、教材…今号から始める「コミュニティが育つ、子どもがいる暮らし」の連載では、根無し草のように親や家族からの援助が得られない私たち夫婦が、どのように周囲から助けを得られたり得られなかったりしながら子育てに取り組んでいるのか、そのリアルなお話を届けたいと思う。そして結果的に、子どもだけでなくむしろ私たち大人、そしてその所属するコミュニティが成長していく可能性に注目したい。

第 1 回目の今回は、まず私たち家族の背景について簡単に紹介したいと思う。そしてもとい家族に頼らずに子育てをしようとしている今の試みについて紹介し始めたい。

今回の登場人物：キサ（メインライター&司会の朴希沙）、やわらどん（キサのパートナー&子どもの父）

キサ：こんばんは、今日はよろしくお願ひします。

やわらどん：こんばんは、今ちようど寝かしつけが終わりました。

キサ：今回のこの原稿もギリギリで作ってますね！私たち、毎日子育て、仕事にすごく追われています。日々の暮らしはどうですか？

やわらどん：とにかく忙しくて、子ども生まれてから時間に関する感覚が変わりました。

キサ：私もです。前より時間が貴重になった気がします。ということで、早速今日のテーマに入りましょうか。今日はまず私たち家族の背景について紹介したいんです。やわらどん、私たちの家族について簡単に紹介できますか？

やわらどん：まず臨床心理士をやっているキサがいて…プログラマーとして働いているやわらどんがいて…えーっと…ちょうど1歳2ヶ月になるちびどんがいます。あとキサのお腹の中にはちびどん2号が控えています。

キサ：次の2月末に生まれる予定なんですよ、私はちょっと不安な気持ちもあります。ひとりでも大変なのでふたりになるとどうなるのかなあ〜と。やわらどんはどうですか？

やわらどん：不安な気持ちもあるけれど、一人目の経験があるので意外となんとかなるんじゃないかと思っています。

キサ：今日も昼間に二人目が生まれたらどう生活を組み立てていこうか、話し合いましたよね。つまり、誰に手伝いに来てもらえるか、とか…

やわらどん：ちびどんの時は最初の1ヶ月半、子育て経験のある友人に住み込みで手伝ってもらいましたよね。

キサ：本当にあれはありがたかった!!私は初めての子育てでよく分からなかったんですが、とにかくその友人に「子育ては人手がいるから」って言われて、それで元の家族に頼れない私たちは何人かの人にも会いに行きましたよね、「手伝ってくれない？」って頼みに…

やわらどん：そうですね、学生時代の友人を始めとした長い付き合いの友人で手伝ってくれそうな人を二人で話し合いましたね。リストを作って、ひとりひとり声をかけていきました。

キサ：懐かしい。今後もやっていきたい活動ですね！

やわらどん：うん、そうですね。

キサ：その住み込んでくれた方が、「とにかくコミュニティ、人を巻き込んで子育てするんだ!!」と言ってくれて…その方にもいつかこの連載に登場して、その真髓を語って欲しいですよ。私たちめっちゃくちゃ影響受けてますよね。

やわらどん：そうですね。

キサ：私たちの紹介は簡単にこれぐらいで…おいおい分かってくる部分もあるかと思いま

すし…それからもう一つ今日の大切なテーマ、「もといた家族に頼らずに子育てをしようとしている試み」についてですね！

やわらどん： うんうん

キサ： もといた家族に頼れたら私もそれが一番いいんです…やわらどんは？

やわらどん： そもそも自分の家族は遠方にいるので難しいけど…

キサ： そうだね、物理的に離れている。私の家族は近所にいるけれど…子どもが生まれる前に色々あって、私たちの間でも色んなことを話し合っ、そこには今は頼らずになんとかやっていこうって決めただよね。

やわらどん： そうそう。たまに血縁に頼れたら楽だろうなあと迷いが生じる時もあるけどね。

キサ： 私もすごくある!!いつも揺れてるよ〜でもそのたびに自分の家族について改めて考える機会になっている気がするな。うちの場合、ちょっと油断するととんでもないことになりそうというか（笑）（そのあたりはまたいつか?!）。「最初が大切だ」ってちょっと踏ん張ったよね。子育てって、改めて自分の育ちについて振り返ったり整理をしたり、遅いかもしれないけど改めて大人になろうとする機会でもある気がする。優先順位をつけたり、自分以外のものを大切にするとはいか？ということをしごく考えさせられるから…

やわらどん： 幸いなことに、色んな人に手伝ってもらいながらとりあえず 1 歳を乗り切りました。

キサ： ノット・ア・サクセスストーリーって書いたけど、私は振り返ると自分たちなりに頑張ったし、しんどくても冷静に考えたらいい選択を重ねてこれた気がするよ！

やわらどん： そうだね、それに少し運がよかった気もします。

キサ： どういう風に？

やわらどん： 頼れる友人を少なからず見つけることが出来たし、保育園にも入ることが出来た。

キサ：うんうん、そうだね。なかなかそうはいかないよね。

やわらどん：友人だけじゃなくて、知り合いづてでアルバイトみたいな形で手伝いに来てくれる人もいるよね。

キサ：そうだよね、それも助かっている。とっても素敵な人だよね。またこの連載にもいつ登場して欲しいですね。

やわらどん：うんうん

キサ：今日は触りということでこのあたりにして、次回以降、今日簡単に触れたところについてもっと詳しく話していこうか。

やわらどん：そうしよう！こんなんでいいのかな？

キサ：これもリアルな現場だね。この対談をするか迷うくらい時間がなかったという（笑）

やわらどんの今日の感想は？

やわらどん：本当に日々が矢のように過ぎていくので、改めて振り返るっていうのはいいことだね。

キサ：色んな人のリアルストーリーを読みたい。

つれづれなるままに～

こんな感じでダラダラと続いていきますが、どうぞ私たちのサクセスストーリー…ではなくリアルストーリーにお付き合いいただけたら嬉しいです。